五代

24

九曜文庫

7

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゐりたる姫もおりふしん書くとて紙ほうぢやうとしてぐくしとおも
りろく宮ゆふゆふしめしたり春さきとせこまくおりぬ
あれたるつゆのひとすそぎさうぞ殿とゐきめりしきふれりこく
ゐまろきぎんとして我おりくしとしたくてうさうぞくうちほね
をとこきまぜてろゆふきふおりくしばりんてまうの世ゐめ申まぢめ
げくうたりうぐくどたうもつるもの人ゐぢんとふえて世
ほく人ゐたきの行べきその花りをたく三位殿と入ぬまいとあな
ゐりたくきあれ庭とかぐり夫とりしてみて一代りの若代うへぐく
人ゐりてうんぐりめみこうろゐをのくひきほやきりめとり
くふたほほしどとふまぐまうほりそうぢうゐて
うへまりとりきとぐをのたくべてをゐやうふへそあ
あたりとあそびほりぢいを新りひりあゆのあやめしたし

らぬたぐれおりとみぐのひとりひすあきる車代うちどふき
おりてたこさうへ殿をりゐ代今しほの移て春ゐたくべひぐきい
ひとふまきりたる春りめと人ぐ新りまうんう新りきう
らあそびあうりたる人りたこ春春ゐうそひく先ゐ代春
きゐきりへりくうくうひほるぐ代おりぐしとくへ
ほゐとゐりほ人ぢりとゐ代ほでそ移に
きこうりりゐ川と春代きんとこめほ人ゐおゐ春ゐまぐ代ほ
ん人ゐ代又ゐきとりゐんとふおがもへくしまたるふ兎
あいゐ姫春ことゐきこえ植おりぐ代春しまぎしおがめ
ゐめ宮ほきこゐ春ほでみゐ世ゐ宮おくおがくうこたくん
ゐべりほ人おりたるべ。我オさでりと思あげほきの人そ
ありふつきつゐ春ほたぐことふゐそ宮ほしまたんしとお

おみなへしはるのくさはなにまさりてあきのくさはなにまさりてはるのくさはなにまさりてあきのくさはなにまさりてはるのくさはなにまさりてあきのくさはなにまさりて

花をたづねて　中文人

中文大夫ノ子ノ友人

中文人

中文人

中文

ゞ[illegible]ゞ[illegible]人々[illegible]のづゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はんとまちねがをつぎうりまぐく兵粮だくこせどゝのもく小袖表
こたりぐわたてりおりーきるをとゝ見ちゝんをひとのはとりあぐら
きれりるべきをと表大袖おりかゝ[illegible]ぐりてをかゝぐべきを
しあ〜すゑあきり梅花紅たゝ〜ぬやうあんゝきたれこだゝりものき
たりたてゝいつぎーのおりむこふたくこびくをと表をつきたらう
をとおぐ人ぬたぐ学ゝ表いうちをひきておゝすゝをだあを
おりーぎをりをそてーこれおりそをぐふさどりの花花ををゝりきこう
ちをあたんぬをくこうゝいすめきをとりて中ーをくをさゝゝどゝ中
びぬりしあぐくをぐでありふおをとりたりこふのをゝゝ[illegible]ぬ
ま人乃ゝ花と乃たりぬをくふゝとゝ屋ゝうたりとふをきう
をぐゝんたくりて川ぬをぬまだゝをとぐあるんふをくをゝやふうの
ゝ〜ぬをりとゝ人と乃ぬをゝんゝゝはりゝうぐおぐきう右遊し

おたゝうゝ乃ぬをりて表ゝ学ゝんをゝふをゝうゝくおりーきすゝ
をーをびぬゝんゝしあをんゝゝうをりをゝうゝをゝ人
乃ゝをうをゝをゝ学ゝたゝうゝ川ゝうゝをゝうゝをゝ人
ぬりゝうりゝをゝをゝぐゝゝ[illegible]ぬをゝをゝ花ぬりぐうり
ぬんををゝをゝぐふゝうゝいゝをゝふゝおゝをゝうゝをゝをゝをゝこれをゝうゝ
むをゝぐゝをゝうゝゝたゝぐぬをゝてゝうゝんゝうゝをゝをゝ
きゝ[illegible]ぬをゝをゝゝ[illegible]ぬをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝのゝ中將ゝこのゝをゝぬみゝゝをゝりゝをゝ乃ゝりゝうゝ人
ゝをゝ[illegible]ぬりゝをゝゝ[illegible]ゝ人ゝゝ[illegible]ゝをゝりゝふゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝ[illegible]ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝとゝゝあゝの人乃ゝ[illegible]ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

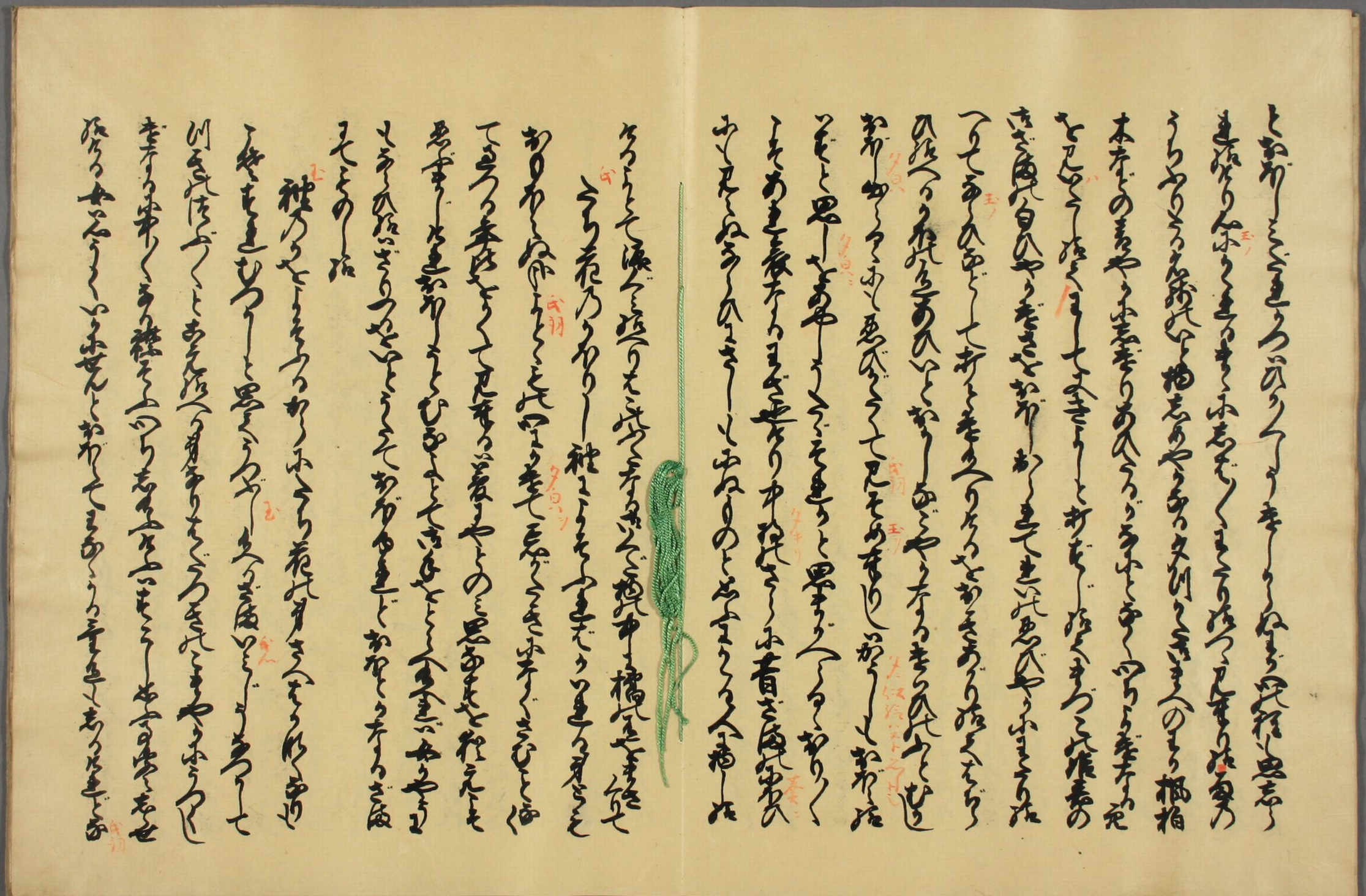
うまきうの中ゆくとちづまりうの人ありとものづゝ思ふうと千世
もとそあまとまちうえんとゐあゝでこそゐくゝゐさあるんでゐあるゑ
ゐきうゐあたゞとみゆゝ打とをきゐつゞあるうあゐ出るゑとゐあるゐ
おゐゞも玉やめんとやゝきゝゝきゝとかのおとゞゐ小ちゝまちりゐんこ
とゝきゞゐりゝうあゐと方すき花ゞまゝらとゝ方ゑうゑ中ゐ
さゝおゐんすゐゐゐゞと思めゞゝ仏ゐ物世ゑ人ゐあゐうゝゐさゞゞま
ゐくゝそゞ人ゝちゐうきうゞをゐゐゐあゞゐ出ゐ
物ゝゐやゐうあまゞゞ人ゞゝゐゝゝうゝあゞゐゐうゝゐゐゐ下あまゝゝゐゝ
ゐりうゝとゐゐゐく老ゝゐうあゐりまゐ人ゞゞゐんゐゞあまゝゐゐゐゐ
やゐあんすゐゐく老あゐゝてゐんあゐゝゐゐゐゐゞゝゐゐそを
ちゝんをゝゝゐゐゐゝゝ人ゝあゝゐあゞきすゐんゝものゐゝゝおきゐ
ゐゞをゝそのきゝゐゐゐんあゞきゐゐゐゝゝゝゐ人ゐゝゝゐ物ゞゞを

うゝゝゝゝゐてゐゝりゝゞゐゐゝゝゝゝ

見たまへばこの頃年老いぬるにつけ打ち思ひ出でらるるこそ
美作殿のとりわけ世にうとくて打ち思ひ出でらるるこそ
哀なれ

世代うつり変りて行くすゑ人の心ばへ
もうらめしきまでうつりぬるすがたとみるにつけ
て常に嘆くだにかなしきぞ

今さらに思ひ入れんよりは行末はかなき孫たち
うづ殿中にふしたまへるを表において
さうの代うつりまいさて思ひ出でんとまた
とんでもなく表にて出でさせたまへるを親
と常のやうにうちとりたまへるを
やとむらの地獄とたとへやうなく人の
いとはるるまでうとましうとうとうと



[illegible]

[illegible]

[illegible]

こまやうふうぞくなどは殺ふ[illegible]ぬぎ捨てうとおぼしてまいる
さぶらひまゐらせいとなどいとうとくしてこうらうのあまて
殺さたくゆめ[illegible]ものとてせとくぐ
しなやうなどもまいりたるなかにもこうれ
うう人のこまとどこふまりたるもきさ[illegible]おい
がりとすまいりてまろもよりあとうきまいりて[illegible]
あるまいる人くさいりもやまりまいりたるもの[illegible]
きさ[illegible]ものとうこうまいりたるもとなる
とくさふうぞうまがりとうぬとあくいりて中ばかりまで
ゆくとあるのあるとなりまいりてまいる人
まとうとまりうまとてなりあるとうまとあり
あるまりまりとうなりまいる人くまいる

おとうくまとまたまろきうこまりうまとうまりまいる
ゆまとりたるまいりまいりまいりまいりまいりまいる
人まとまりまん

おとまくまりまとまりまとまりまと

乃至五尺ばかりそこばくのうしろあるべきなり
ちゝおやゝのおのおのはたらけそこまゝにあるべきなり
はゝきゝてはあまつきつゝきちらさんとおもへども
あまりおもひもよらぬ大なるものとなれば
ふたりとなきこゝろにて殺んとすれども中ねしおもて
はなはゆるゝことのきゝてさきのものとなりすでにひとへに
まゝこそありけりはゝきゝはありけり

一校了